男声合唱団　コールバッカス

創立５周年記念演奏会

1999.　5.　16　（日）

高槻現代劇場中ホール

男声合唱団コールバッカス

創立５周年記念演奏会

友情出演　セレスティーナ男声合唱団
指　揮　加藤直四郎　富岡　健　太田睦夫
主　催　男声合唱団　コールバッカス
後　援　財団法人高槻市文化振興事業団　高槻市合唱連盟
高槻音楽家協会　高槻コンサート協会

ご　あ　い　さ　つ

本日はお忙しい中、私達の初めての演奏会にご来場賜り誠に有り難うございます。男声合唱団コールバッカスは、自然の生命力を最も豊かに感ずる好時節、今月で満５年を迎える事が出来ました。市内には諸先輩合唱団数有るなか、本日ご来場戴きました皆様方を始め各方面のご支援を受け、本日結成当時と同じホールで、記念演奏会を開催出来ました事を　団員一同深く感謝し厚く御礼申し上げます。

我々は男声合唱の持つハーモーニーに限りない喜びを見いだし、また入団に際しても何の制約も設けず運営の一切を団員各自が自主的に行動を起こして事に当たってまいりました。

さて、本日は合唱界の重鎮「加藤直四郎」先生と、関西の各市で市民オペラなどに積極的に取り組んでおられる、「富岡　健」先生をお迎えいたしております。　それぞれに個性豊かな合唱界の一流の指揮者で歌うことが出来ることは、我々駆け出しの団体に取っては望外の喜びであります。

又、今回西宮市の先輩「セレスティーナ男声合唱団」に友情出演を快諾いただき、社会人となれば経験する事が難しい大人数での男声合唱の醍醐味を皆様にご披露する予定です。

どうか最後までお聴きいただき、忌憚のないご叱声、ご教示を戴きますとともに今後とも当団に温かいご支援をくださいますよう切にお願い申し上げてご挨拶とさせて戴きます。

平成１１年５月１６日

代表　藤山佳洋

演奏会によせて

高槻音楽家協会副会長　土橋康宏

５周年記念演奏会、実に素晴らしいことです。心よりお祝いを申し上げます。私も昔、青山学院のグリークラブに所属して居りました。そのハーモニーの素晴らしさを今でも忘れられません。コール・バッカスは高槻で生まれ育った唯一の男声コーラスと云うことで、皆でエールを送りますので市民の為に歌い続けて下さい。

本日の演奏会がご盛会になる様、また今後のご発展をお祈り申し上げます。

高槻市合唱連盟会長　小西美恵子

１９９８年長野冬季オリンピックの開会式は新鮮な感動として、私の心の中に今も焼きついています。世界５つの都市を結んでの「歓喜の歌」の大合唱でした。ニューヨーク、ベルリン、シドニー、ケープタウン、北京と、遠く離れた国の人々が歌う姿が電波を通じて、リアルタイムで流れる画面に釘付けになりました。その歌声の力強さ、素晴らしさが画面を通じて心に伝わってきて「音楽の持つ言葉は世界の共通語」だと改めて深く心に感じました。

コールバッカスの皆様は、団のポリシーをしっかりと持ち、素晴らしい指導者にも恵まれ、年毎に、レベル向上しながら、コーラスの楽しさ、喜びに、情熱を傾け、春の合唱祭、秋の音楽祭、そして外部出演も積極的にこなし、大変エネルギーに満ちた合唱団です。外国には１００数十年もの長い歴史と伝統を持った合唱団が多くあります。これらの合唱団は、メンバーの個性を尊重し、家族ぐるみの付き合いも大切に、各自なんらかの役割を担い、自分の合唱団を誇りに思っています。

コールバッカス合唱団が高槻唯一の男声合唱団として「水と緑の生活・文化都市高槻」に深く根を張り、５０年、１００年と人の声の織りなす温かくて力強いハーモニーを大切に、世界共通の言葉「音楽」で、聴く人の心に、素晴らしい感動を与えて下さる事を願ってやみません。

５周年記念演奏会、心よりお喜び申し上げます。

高槻市コンサート協会会長　国久昌弘

男声合唱団コールバッカスの皆様、創立５周年の記念演奏会開催おめでとうございます。
５年前、常に男性不足に悩まされていた高槻市民合唱団のメンバーから“高槻で新しく男声合唱団を作りたい”と聞いた時、本当に大丈夫かなと危惧したものでした。しかしながら、この５年間でりっぱな合唱団に育ち現在では高槻のみならず、関西でも広く活躍する男声合唱団に成長されました。これは、心から合唱を愛するコールバッカス団員の皆様方のたゆまぬ努力によるものと深く敬意を表すものであります。

今後とも更に練習を積み重ね、高槻唯一の男声合唱団として高槻市の音楽文化の向上に寄与されますことを期待しています。今日は日頃の練習成果を遺憾なく発揮され、男声合唱のすばらしいハーモニーをこのホールいっぱいに響かせていただけるものと楽しみにしております。

本日演奏会の成功と、今後ますますのご発展・ご活躍を心からお祈り申し上げます。

プログラム

オープニング

・団歌〔乾杯の歌〕　ドイツ学生歌　伊藤 元　編曲
ピアノ：川島悦子

Ⅰ　歴代の愛唱歌より

指揮：太田睦夫　　ピアノ：川島悦子

・石家荘にて　草野心平　作詞・多田武彦　作曲
・組曲「月光とピエロ」より　堀内大学　作詞・清水　脩　作曲
　ピエロの嘆き
　秋のピエロ
・中国地方の子守歌　山田耕筰　作曲・福永陽一郎編曲
・組曲「月下の一群」より　堀内大学　訳詞・南　弘明　作曲
　秋の歌
　海よ

Ⅱ　友情のハーモニー

賛助出演　セレスティーナ男声合唱団
指揮：宮林茂晴　　ピアノ：井口寛子

・レクイエム　O.P48 より　PIE　JESU　フォーレ　作曲・林雄一郎　編曲
・組曲「航海詩集」より　わが窓に　八木重吉　作詞・多田武彦　作曲
・約束　藤田敏雄　作詞・前田憲雄　作曲

Ⅲ　ロシア正教会聖歌

指揮・編曲：加藤直四郎

・ゴスポディ　ポミルイ（主憐れめよ～十字架挙栄祭９月27日）リヴォフ　作曲
・主や爾を崇め歌い　ロマーキン　作曲
・第29コンチェルト（我が神の名を讃めたたえん）　ボルトニャンスキー　作曲
・ムノガヤレータ　作曲者　不詳

―― 休憩 ――

Ⅳ　合同演奏

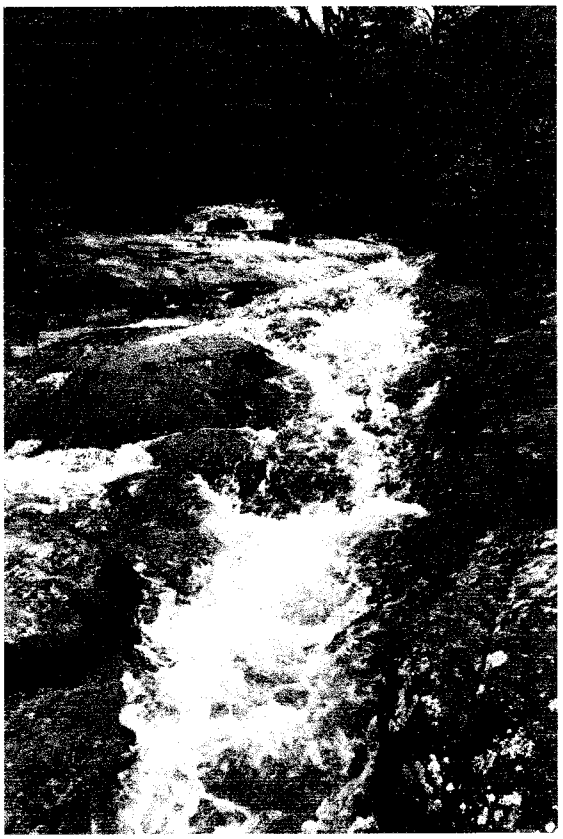
指揮：太田睦夫　　ピアノ：門脇由紀子
指揮：宮林茂晴　　ピアノ：井口寛子

- Sing Along　　Lobert　Allen作詞・作曲
- Die Nacht　　Franz　Schubert　作曲
- Heilig　　Franz　Schubert　作曲
- Shenan-doah　　American　Sea　Shanty
- Soon Ah Will Be Done　　Negro　Spirituals
- 歌劇「タンホイザー」より　巡礼の合唱　　Richard　Wagner　作曲

Ⅴ　組曲「千曲川」

指揮：富岡　健　　ピアノ：紺谷晶子
加藤省吾　作詞・瀬下健二　作曲

1．小さな流れ
2．吠える荒武者
3．かあさん
4．若鮎
5．古城のほとり
6．台風
7．月の青さに（旅情）
8．千曲川



曲　目　紹　介

ロシア正教会聖歌

1．ゴスポディ　ポミルイ（主憐れめよ ～ 十字架挙栄祭 9月27日）　リヴォフ作曲

ビサンティン帝国で最初にキリスト教を公認した、コンスタンチン大帝の母エレナによって、主が磔刑に処せられた十字架が発見されたことを記念する祭り。　主の受難を思い「主憐れめよ（ゴスポディ　ポミールイ）」が７０回繰り返し歌われる。

2．主や爾を崇め歌い　ロマーキン作曲

正教会の祈り（聖体礼儀）の最も重要な部分で歌われる聖歌。この歌が歌われる時、パンと葡萄酒が聖神により、ハリストス（キリスト）の聖体聖血に聖変化する。ハリストスが自らを衆人のために捧げられたことを感謝し賛美する祈りの歌。

3．第２９コンチェルト（我が神の名を讃めたたえん）　ボルトニャンスキー作曲

コンチェルトという言葉は声楽曲には余り用いられないが、器楽曲の場合と同じく、聖歌作曲上最大の型式として、合唱の高度な技術を示す目的で書かれた声楽上の価値に富んだものである。　ボルトニャンスキーは多くの宗教曲を作曲したが、その中でも３５曲の教会コンチェルトは彼の傑作として数えられている。

歌をもって主の名を讃栄し
讃め歌をもって彼を讃揚せん

主が我らに施す憐れみは大いなり
その真実は永遠にあり

4．ムノガヤレータ　作曲者不詳

「幾年も」と訳され、様々なお祝いの歌として礼拝の最後に歌われる。

組曲「千曲川」

作詩者 加藤省吾氏 が若い日々 度々訪れた信濃高原、夏には月見草が咲き乱れ、秋には芒の穂先をそよ風が渡る。　氏はそんな千曲川がとても好きだったという。　小諸の懐古園の城跡から見つめていた千曲川の流れからひらめいた一つの詩想。　そのメモをのちに組曲として完成させたという。

木の根を伝わる小さな流れが、やがて急流となり、流域の村々を潤しながら海に注ぐ、人の一生にも似た永遠の流れを続ける千曲川。　この千曲川の流れを詩にしたい、これが氏の希いだったという。

作曲者 瀬下健二氏は この組曲に次のような序を寄せています。

短い序奏の後 ８曲を緩急に構成し、とりわけ詩の持つ抒情性と躍動性を音楽にする様心がけた。　小さな流れが大きな流れを呼ぶに始まり、自然との対話の中で、エピソード風に問いかける「かあさん」。　ぴちぴちとした若鮎の天国を想わせる清流。　古城のさびを湛えた感情をゆったりと唱い、豊作の稲を呑み込む台風に怒る。　又、民謡風な旋律の「月の青さに」等で、旅情を醸し出して頂ければ幸いだ。　終曲は7/8拍子（変拍子）のアクセントを持つ激しい部分で始まり、回想部分と昂揚した変形反復を経て、コーダに入り千曲川を絶唱して終わります。

指揮者紹介

加藤直四郎　（名誉常任指揮者）

１９０８年豊橋に生まれる。
１９３１年東京音楽学校（現東京芸術大学）卒業。
同時に大阪府立夕陽丘高等女学校（現高等学校）に勤務。
１９５３年大阪学芸大学（現大阪教育大学）助教授の後、教授を経て１９７４年退官。兵庫女子短期大学教授として勤務の傍ら神戸女学院非常勤講師を兼任。現在、関西合唱連盟最高顧問、大阪府合唱連盟名誉会長。

コールバッカスと私

早いもので、もう２年も前のことです。大阪ハリストス正教会の聖歌隊に参加していただいている岡田先生のご紹介で、代表の藤山さんとお話ししたのがバッカスとの始めての出会いでした。とにかく、一度聞かせていただきたく参上しましたところ、３０名近くを擁する堂々とした男声合唱に驚かされました。是非この団体と一緒にやりたいと思いました。それから、毎月一回の指導をお引き受けすることになったのです。私は教会音楽に興味を持っていますので、主としてロシア正教会の音楽を持って参りました。そして、男声合唱の重厚さと無伴奏の純正調の研ぎ澄まされた和音の響きで表現する音楽の素晴らしさをコールバッカスの力で演奏できるようにしたいと願ってまいりました。

一緒に練習するようになって特に感じていることは、一人一人がよい素質を持っていて、こちらの要求に対して見事に応えてもらえるのを実に有り難く思っております。ただ、練習回数が限られているので、合唱の密度の上からいえば行き届かない面もあるのですが、団員の皆様と共に精一杯の努力をしてきました。

このバッカス創立５周年記念演奏会では、ロシア正教会聖歌のハイレベルな男声合唱を高槻の皆様に聴いていただきたいと心から念願しております。

加藤直四郎

富岡　健　（客演指揮者）

同志社大学法学部卒業後、１９７４年から３年間アメリカに留学、ミシガン州立ウエーン大学音楽学部指揮専攻科に学ぶ。
１９９２年より室内管弦楽団「シンフォニエッタカンサイ」を主宰するほか、１９９４年長岡京市民管弦楽団を設立、音楽監督を務める。
１９９７年夏、常任指揮者を務める「フラワー・コーラス」で第２０回全日本おかあさんコーラス全国大会の第一位グランプリ獲得。また「コレギウム大阪女声合唱団」では、創立４年目にして関西合唱コンクール一般の部の銀賞に輝いた。
また、最近は関西一円を中心に各地で展開される市民オペラ活動を支援し、その地道な基礎を固めることに大きく貢献している。
指揮法を（故）福永陽一郎、若杉弘、H.ラングスフォードに師事。１９９２～９４年にかけてオホーツク音楽セミナーにおいて小林研一郎に学んだほか、１９９７年にはヴァイマール・リスト音楽院の指揮マスタークラスに参加して研鑽を積んだ。現在は大阪芸術大学、神戸山手女子短期大学の講師を兼任。

コールバッカス紹介

太田睦夫（団内指揮者）

1944 年京都市に生まれる。京都府立山城高校在学中に合唱の魅力にとりつかれる。同志社大学入学後、同大グリークラブに入り，男声合唱への恋が芽生える.
指揮法を（故）福永陽一郎、声楽を大久保昭男の各氏に学ぶと共に学生副指揮者を経験する。

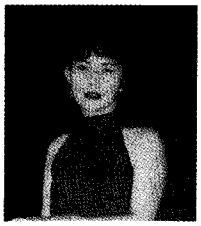
現在、コールバッカス２代目団内指揮者を勤める傍ら、コールうの花の指揮者として活躍中。

川島悦子（ピアノ）

大阪音楽大学器楽学科ピアノ専攻科卒。山下啓子、安田信子、遠山つや、山崎孝の各氏に師事。京都、大阪にてピアノグループ清明に出演。　また、高槻市新人演奏会、フレッシュアーチストコンサート等に出演。　男声合唱団コールバッカスの初代ピアニスト。

門脇由紀子（ピアノ）

大阪音楽大学器楽学科ピアノ専攻科卒。綿貫美佐子、（故）金沢益孝、伊藤勝の各氏に師事。高槻新人演奏会、チャリティコンサート、名曲コンサート等に出演。第３１回なにわ芸術祭で「新人奨励賞」を受賞。現在、ソロの他に室内アンサンブル、合唱団の伴奏でも活躍している。



紺谷晶子（ピアノ）

京都市立芸術大学音楽学部卒業。ピアノを岩淵洋子、チェンバロを有賀のゆり、室内楽を岩淵龍太郎各氏に師事。卒業後、リート伴奏法をE.F.ザイラー氏に師事。　室内楽、ピアノ、デュオ、歌曲伴奏、合唱伴奏で活躍。現在、プリムローズ、日吉台合唱団（大津市）、アンサンブル・キアーラ、ひまわり児童合唱団の伴奏者。

コールバッカス５年の足跡

１９９４年（平成６年）
　６月　男声合唱団コールバッカス誕生。総勢２０名でスタート
１９９５年（平成７年）
　３月　交野男声コーラス「アンサンブル彦星」とジョイントコンサート（高槻市民会館）
　５月　聖チェチリア合唱団演奏会に賛助出演「モーツアルト　戴冠ミサ」（豊中市立アクア文化ホール）
　１０月　ミニコミ紙「きつつき」の取材を受ける
　１２月　エキスポランド クリスマスコンサートに出演
１９９６年（平成８年）
　２月　ミニコミ紙「わいわいＹＯＵ」の取材を受ける
　６月　女声合唱団「こーらす紫陽花」の賛助出演を得て演奏会を開催（寿栄コミュニティセンター）
　１２月　高槻音楽家協会主催のクリスマスファミリーコンサートに出演（高槻現代劇場大ホール）
１９９７年（平成９年）
　９月　アウラソアーヴェ・ジュニアコール 主催のミュージカル「サウンドオブミュージック」に出演（高槻現代劇場中ホール）
　１１月　セレスティーナ男声合唱団７５周年記念演奏会に友情出演。「月下の一群」全５曲（西宮市民会館）
１９９８年（平成１０年）
　７月　阪大病院にてロビーコンサートに出演
　１０月　高槻ケーブルテレビネットワークの取材を受ける
　１２月　高槻音楽家協会主催のファミリーコンサートに出演（高槻現代劇場中ホール）
１９９９年（平成１１年）
　５月　創立５周年を記念して初めてのリサイタルを開催（高槻現代劇場中ホール）

その他、毎年４月は高槻市合唱祭、１１月は高槻市民音楽祭に出演

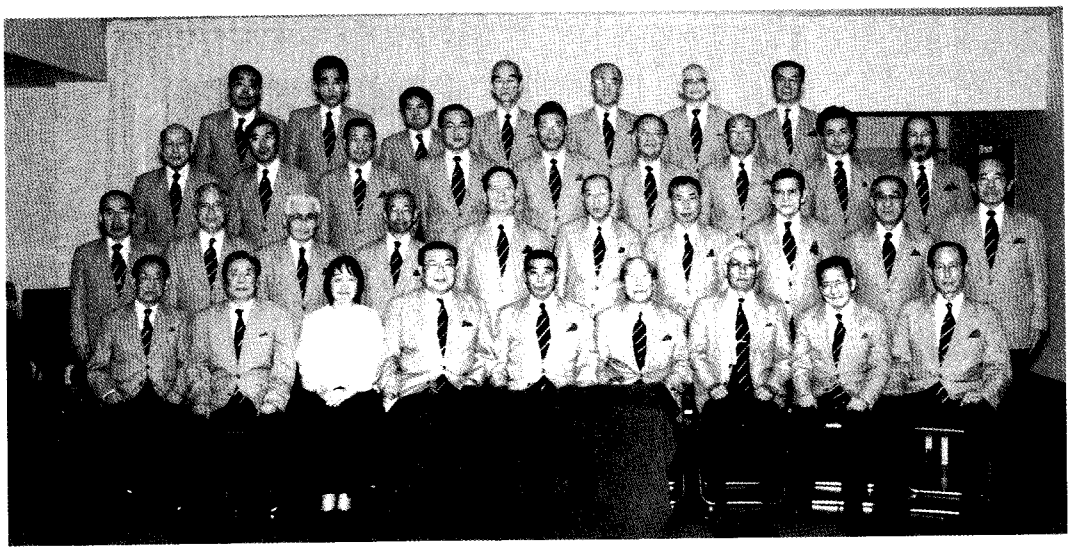
なお、１０月３日（日）川西市みつなかホールにて、三菱電機葵合唱団創立５５周年記念演奏会に加藤直四郎先生の指揮で賛助出演の予定

セレスティーナ男声合唱団

CELESTINA SINCE 1922

指揮者　宮林茂晴　ピアノ　井口寛子

Top Tenor		Second Tenor	Baritone	Bass
石原洪三	渡辺　裕	浅田　淳	香川弘光	石坂哲郎
奥田　修	長家淳三	伊地知睦夫	木島三雄	内田　檀
川島 弘章		奥井　弘	桑原三郎	川島秀夫
新村　正		川上　哲	住中征志郎	川上隆二郎
藤原清則		久保三朗	高橋享也	斉木義雄
古胡博己		小池久雄	西藤　一	築山嘉三郎
松井秀樹		坂口英和	藤戸　武	萩原篤志
山下　弘		杉村　肇	前田　治	村上　晃
横山純三		山田　豊		山本太郎



特定医療法人大阪精神医学研究所
精神疾患・アルコール依存症
老人性痴呆疾患専用病棟完備

新　阿　武　山　病　院

〒569-1041　高槻市奈佐原４丁目１０番１号
TEL 0726(93)1881

SING TOGETHER BROTHERHOOD

どちらかといえば数少ない関西の社会人男声合唱団の中で、若さと清新の気あふれるコールバッカスのコンサートにお招きいただき、嬉しさでいっぱいです。皆さんとの交流は、数年前からきわめて自然な形で芽生えたようです。つまり相互の団員に旧知が多く、いつの間にかブラザーフットが生まれたのです。そして一昨年のわれわれの創立７５周年記念コンサートに快く友情出演をいただきました。なんと、その際は夏の合宿までご一緒されるなど大変なカの入れようで（打ち上げパーティを含めて）しっかりバックアップしていただいたことでした。

そのかいもあって、合同ステージでは力強い迫力ある演奏で好評を博しました。そして貴団単独ステージでは、欧風のロマンあふれる雰囲気の演奏で、ややもするとマンネリ化するわれわれに喝をいれてくださったのです。ただただ感謝です。

そして今回、貴団の記念すべき５周年（なんと若々しいこと）コンサートにお招きをいただき、老骨に鞭打って合同演奏と我々のステージを努めさせていただきます。演奏曲目は一工夫しました。きっとみなさまに喜んでいただけるものと思います。

終わりにあたりコールバッカスの団員各位のご健勝、ご多幸と貴団のますますのご発展をこころから祈念いたします。創立５周年おめでとうございます。

セレスティーナ男声合唱団
団長　　石坂哲朗
常任指揮者　宮林茂晴

CELESTINA SINCE 1922

１９２２年創立、７７年の歴史を誇る関西最古の社会人男声合唱団。「セレスティーナ」とはイタリア語で「天国よりの妙なる音楽」の意味。意欲的な指揮者、ピアニスト、オルガニストに恵まれ、宗教曲をはじめ、幅広い男声合唱曲に取り組む熟年の実力派男声合唱団です。例年各地チャペルコンサート、同好合唱団との交流、被災地慰問（団員宅も殆ど被災）豪華船ふじ丸でのコーラス教室など年々２０回ものステージを持っています。

現在団員数４０名、最高齢９１歳（平均年齢６６歳）それぞれの合唱歴や職業も多岐多様です。それらを結ぶ絆は「男声合唱の虫」であること、ただ一つ。

最近の歩みとしては１９９６年、全日本シルバー合唱コンクール金賞、第一位、続いて９７年同コンクール特別賞。同年開催の７５周年記念リサイタルは聴衆１２００名の大盛況、９８年には台湾高雄での国際合唱交流会、全国生涯学習フェスティバル前夜祭スペシャルコンサート、関西ＴＶの出演，愛唱歌ＣＤ製作などです。

今年は、新春の神戸心の復興あじさいコンサートを皮切りに郵政広報取材、本日のコンサート、全国シルバー合唱交歓会（金沢）など年末の新生篠山市民クリスマスに至るまで次々と新企画に取り組んでいます。

創立５周年記念演奏会

男声合唱団　コールバッカス

組曲　千曲川（作詞：加藤省吾　作曲：瀬下健二）
歴代の愛唱歌より
石家荘にて　秋のピエロ　中国地方の子守歌
ロシア正教聖歌
ムノガヤレータ　第２９コンツエルト

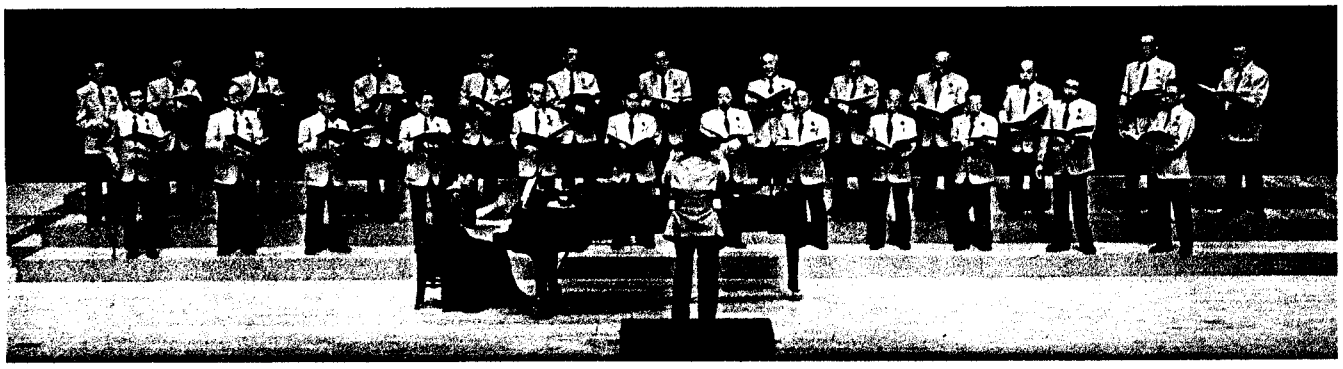
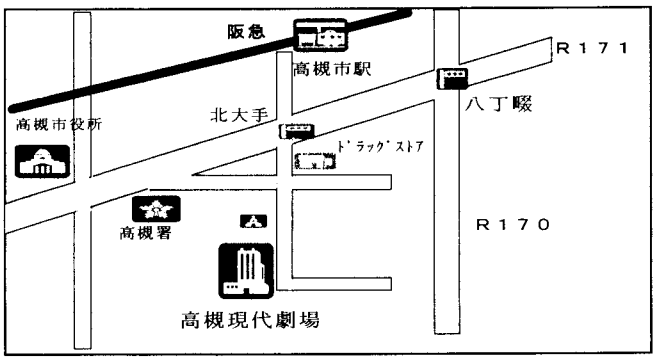
友情出演　セレスティーナ男声合唱団
指　揮　加藤直四郎　富岡　健　太田睦夫

1999. 5. 16（日）

1：30 P.M.開場　2:00 P.M.開演

高槻現代劇場中ホール

入場料　1000円　（前売り券／900円）



主催　男声合唱団　コールバッカス
後援　財団法人高槻市文化振興事業団
高槻音楽家協会
高槻市合唱連盟
高槻市コンサート協会
連絡先　藤山佳洋　0726-72-2724
長明幸治　0726-75-4566